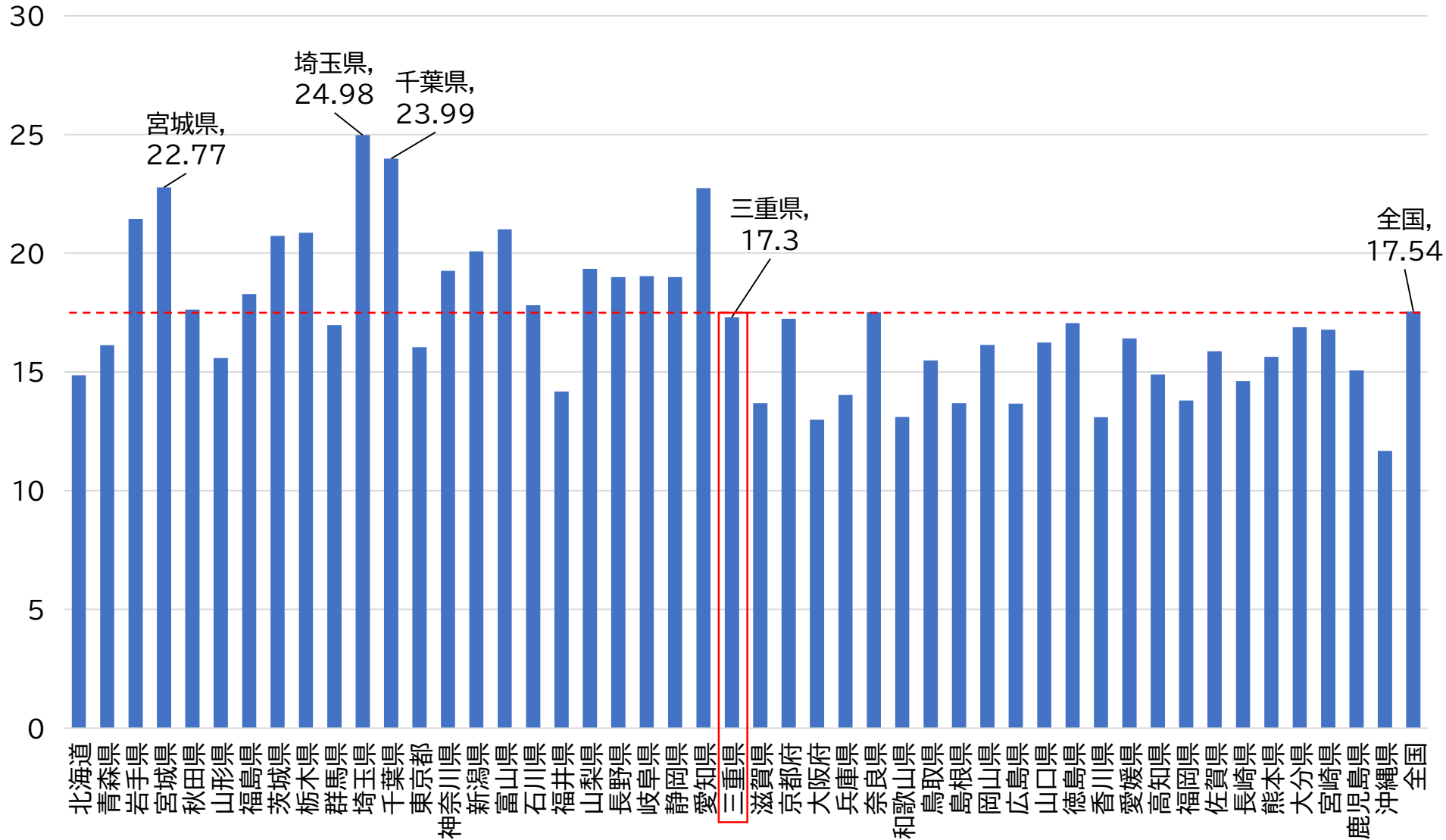


新型コロナウイルス感染症の 感染動向等について

都道府県別・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）定点当たり報告数

2023年第37週(9月11日～9月17日)

◆ 第37週の定点当たり報告数は17.54（三重県：17.3）、**関東等の東日本で報告数が多い傾向**にある。

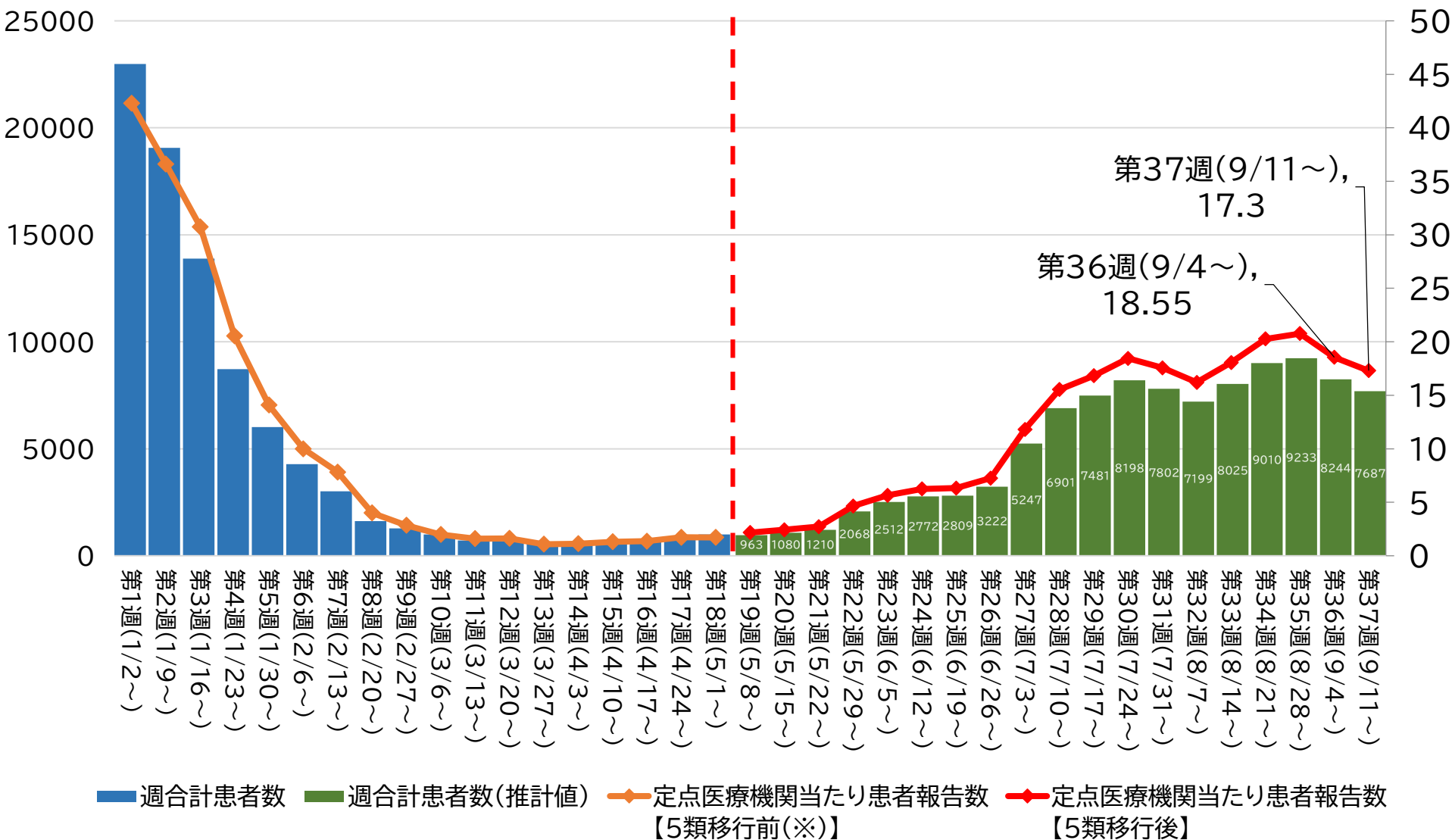


※厚生労働省発表資料（令和5年9月22日付け新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況等について）を基に作成

県内新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者数・定点当たり報告数推移

2023年第1週～第37週（1月2日～9月17日）

◆ 第37週の定点当たり報告数は17.30、前週に比べて減少（前週比0.93）



※第18週以前の週合計患者数（青：-）は全数把握に基づく患者数，定点当たり報告数（橙：-）は厚生労働省公表数値

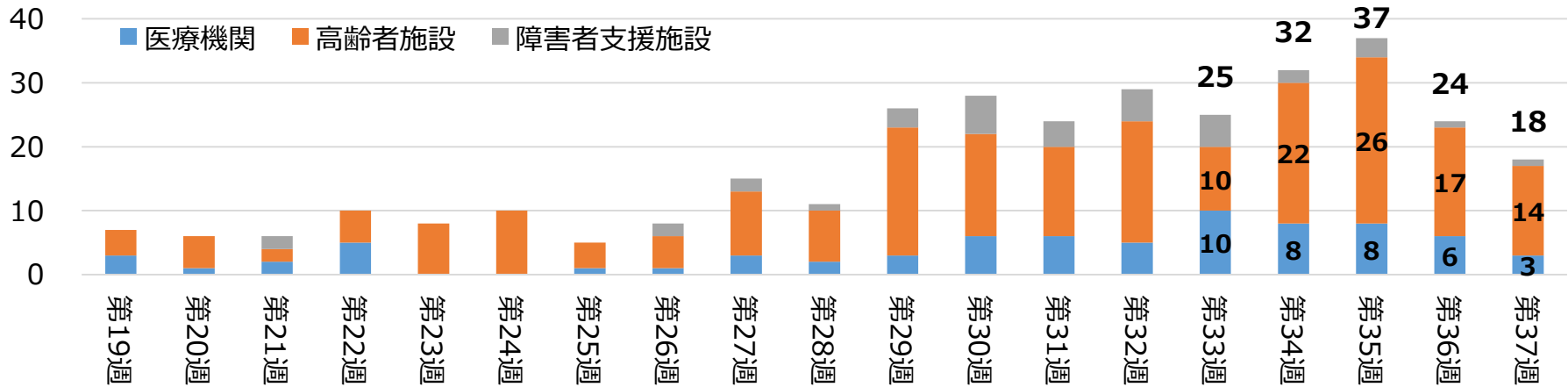
※第19週以降の週合計患者数（緑：-）は厚生労働省の通知に準じて算出した推計値

県内新型コロナウイルス感染症（COVID-19）集団感染事例報告状況

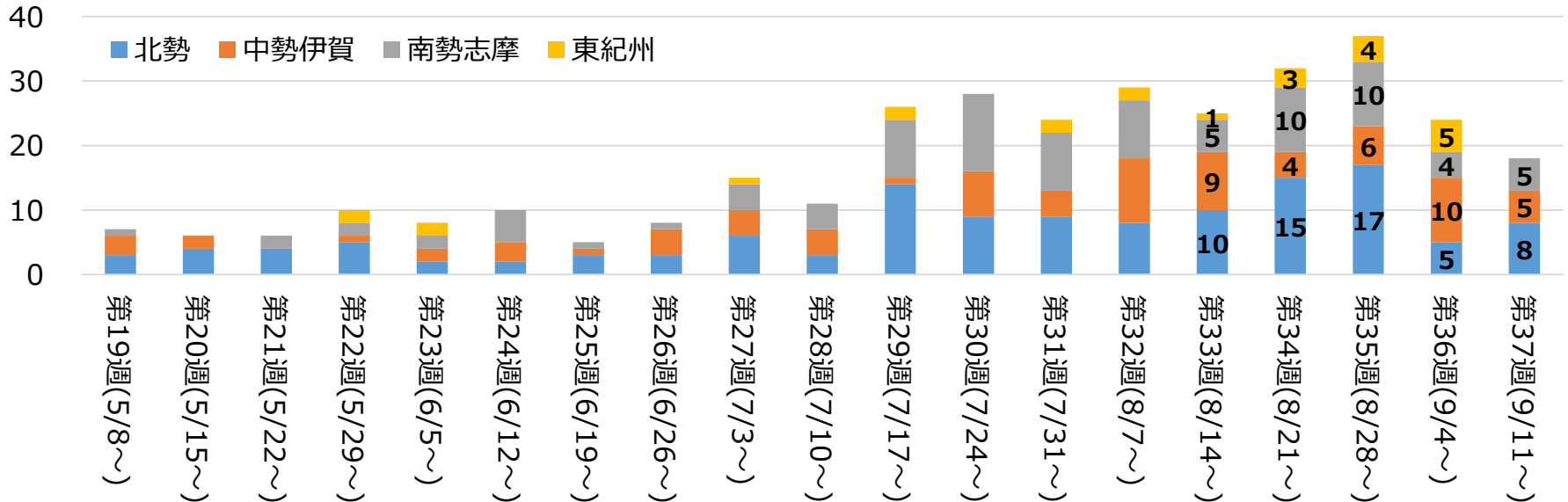
2023年第19週～第37週（5月8日～9月17日）

- ◆ 第37週の報告件数は18件、2週連続で**減少**
- ◆ 高齢者施設・医療機関ともに報告件数は**減少傾向**、東紀州以外の圏域からの報告は継続

【施設種別報告状況】



【医療圏別報告状況】

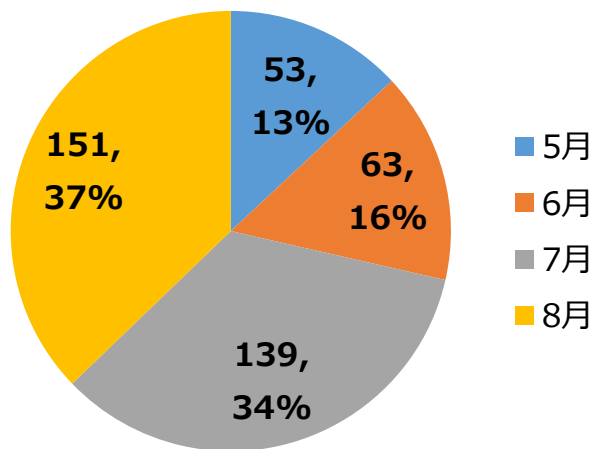


県内新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ゲノムサーベイランス実施状況

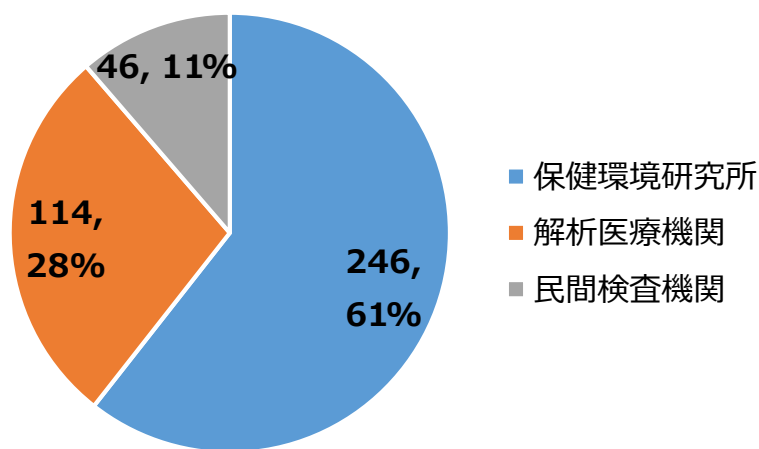
2023年第19週～第34週（5月8日～8月27日）

- ◆ 5類移行後(5/8～)のゲノムサーベイランス実施件数は406件※1、7月以降、解析件数は増加
- ◆ 解析実施機関別では保健環境研究所61%、解析医療機関28%、民間検査会社※211%
- ◆ 県内全域から検体は収集されており、約9割はXBB系統（EG.5系統は20%）

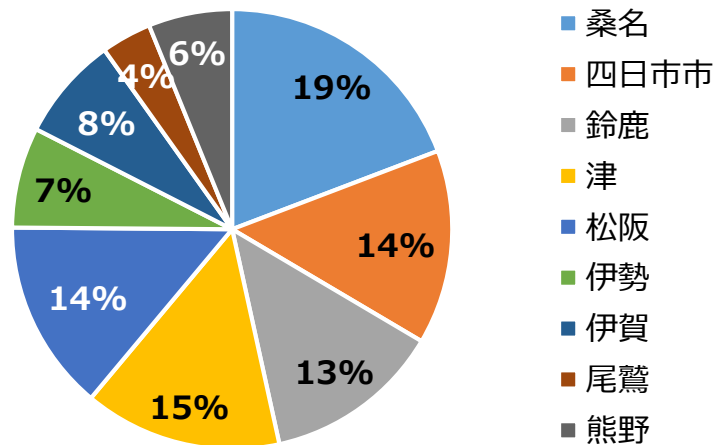
【検体採取月別(n=406)】



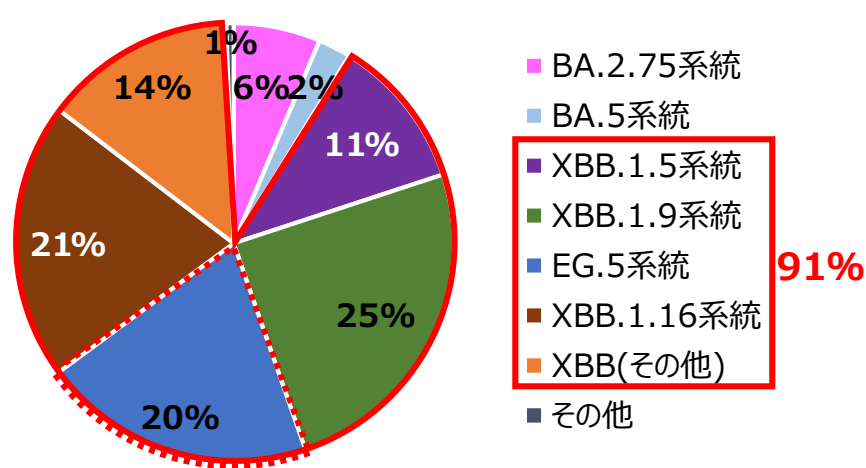
【解析実施機関別(n=406)】



【保健所別(n=406)】



【系統別(n=376)】※解析不能(30件)を除く



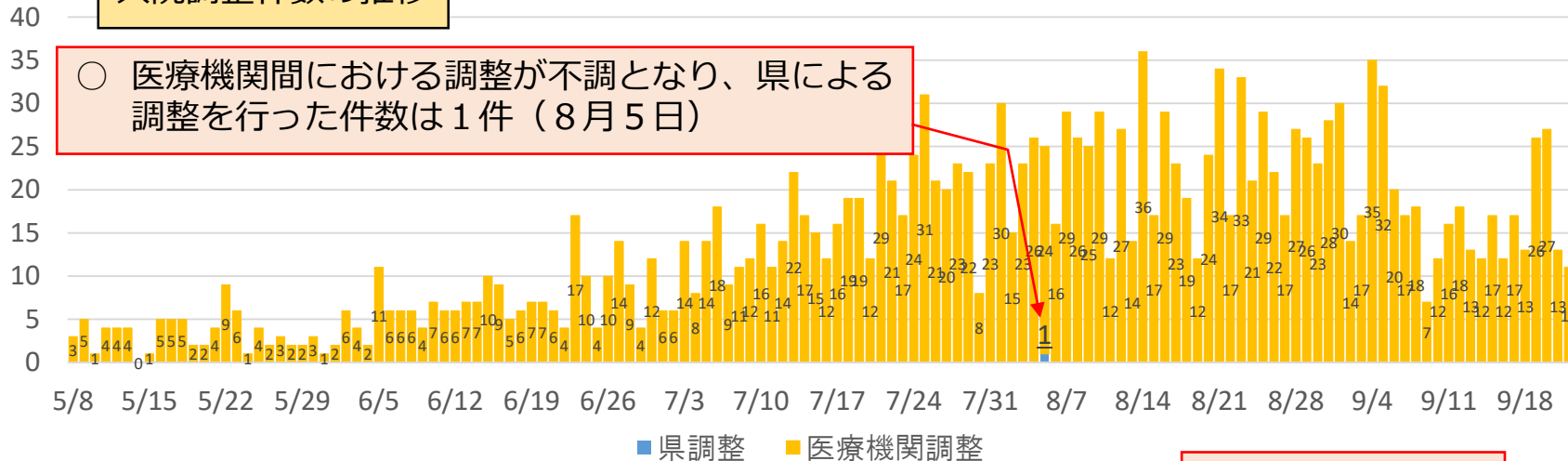
※1：9月14日現在、ゲノム解析結果が判明している件数（検体搬入のみの場合は件数に含まれない）

※2：国立感染症研究所と民間検査機関との契約に基づき、本県分として結果が報告された件数

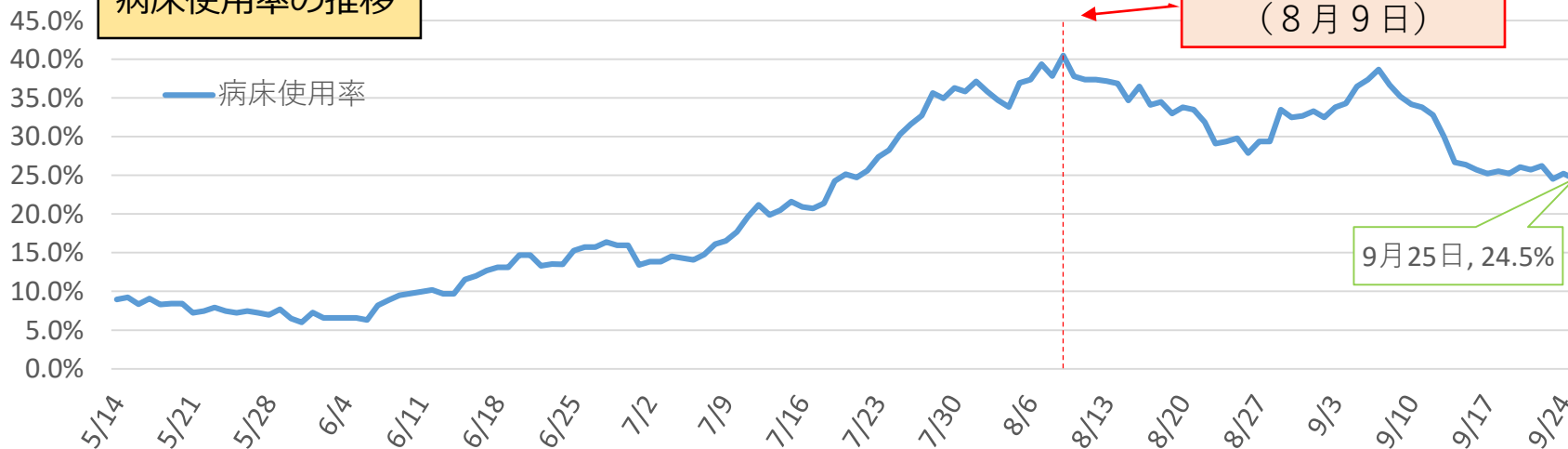
5類移行後（5月8日以降）の入院調整の状況及び病床使用率の推移について

○ 5月8日以降、医療機関間における入院調整件数は計1,923件（9月22日時点）

入院調整件数の推移



病床使用率の推移



確保病床408
(5月16日時点)

確保病床441床
(7月1日時点)

確保病床452床
(8月1日時点)

確保病床591床
(9月3日時点)